

仲のいい防災女子が得意な分野を活かして「楽しく」活動

【活動概要・他もありそうな課題】

《活動》

岐阜県高山市のまちづくり協議会事務局の防災士の女性メンバー有志で、地域防災の啓発活動を行っている。大型紙芝居、リズム遊びなどオリジナル教材、対象地域の過去の災害被害の紹介などその都度プログラムを作成し、体験型ワークショップや地域力スタマイズしたプログラムを通して、**楽しく防災を考える**取り組みを行っている。

《課題》

- ・防災に関する関心が薄い、講義を聞いても難しく感じてしまう。
- ・防災活動＝自治会・年配・男性、堅苦しいというイメージが大きく、地震が起きた際に対応する女性の防災活動が弱い。
- ・資格を持っていても、他者に知識を広げる機会があまりない。



高山市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



【マネできそうな手順や実例】

団体設置

活動

ブラッシュアップ

「自分たちで活動してみよう！」と
意思のある**仲のいい女性が**
女性目線を活かした団体を作る

結束力があり、
相談・連携が取りやすい

【TTPポイント】

仲のいい防災女子が中心となることで、
身の回りの課題に対して、女性目線＆得意を活かした活動ができる！

テーマごとに**小さい団体で**
身近なところから活動してみる

例) 防災意識を高めるために、
小学校で「ツナ缶ランタン」をしてみる

TTP

各メンバーの**得意な分野**を
活かして相乗効果

それぞれの得意なことを
アドバイスし合い、よりよい内容に

TTP

実例

保育園・小学校・中学校 放課後児童クラブでの防災啓発

地域学校協働活動の一環として
学年に合った防災学習の実施
紙芝居・リズム遊び・シールワーク・パッククッキング
教科書の内容や地域アーカイブによる資料作成



実例

女性目線で考える 防災ワークショップ

女性ならではの視点を活かし、災害時に
女性が直面した課題を紹介するワークを実施
乳幼児親子防災教室で
乳児の持ち物の確認や、簡単防災食ワークの実施

過去の事例から考える
災害時に女性が直面した課題
必要な日用品(育児・介護・女性用品)の不足
プライバシーの問題
病気(からだ・メンタル)
性差による作業の過度な負担
性暴力やDV



【獲得できた効果】

《実施者から見た効果》

- 学年に応じた防災学習を取り入れる学校や放課後児童クラブ等が増えた。
- 調査の結果を活かすことによりピンポイントの防災啓発を実施できた。
- 市民活動団体からの協働の申し出があり、防災関係のつながりが増えた。
- 地域の実態にあった啓発は効果が大きい。

《住民・市民から見た効果》

- 自発的に、主に子供の学びが増える！
子供の学びが親御さんにも伝わる。
(能登地震の際、子供が学びを実践していた。)
- 家族で備蓄品を見直すきっかけになった。
- 防災を『楽しく学ぶ』機会になった。
- 口コミとして地域内に広がり、活動を知ってくれる方が増えた。